

Towa kakehashi

かけはし

Four Seasons News Letter 2025 summer

特集 地域連携の会 開催



- 新入職医師のご挨拶 血液内科 疋田 涼介 / 健診センター 森定 一稔
- News & Topics
- 市民公開講座のお知らせ

第22回 社会医療法人東和会 地域連携の会 ご報告

平素より格別のご支援・ご温情を賜り、心より御礼申し上げます。

6月28日(土)、ホテルグランヴィア京都におきま

して「第22回地域連携の会」を開催いたしました。

大変ご多忙の中、たくさんの先生方にご臨席いただきまして深く感謝申し上げます。



●東和会グループ会長より、日頃よりご支援・ご協力を賜っております先生方へ感謝のご挨拶を申し上げます。過去最多のご参加をいただき、会場は終始、和やかで温かな雰囲気に包まれておりました。



●高槻市 濱田 剛史 市長のご臨席を賜りました。



●日本医師会 茂松 茂人副会長にご挨拶を頂戴しました。



●高槻医師会 保田 浩 会長が乾杯の音頭をとってくださいました。

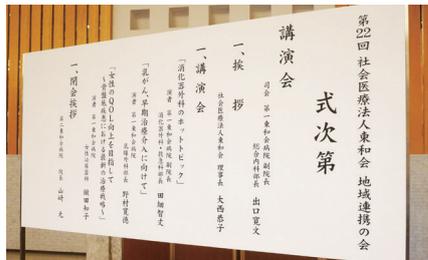
懇親会では、ご来賓の皆さまより心温まるご挨拶を頂戴いたしました。また、当院の新入職医師をご紹介させていただきました。

地域の先生方と当院の医師も交流を深め、顔の見える関係ができ、地域全体で支え合う医療体制の重要性を再認識することができました。今後も地域の先生方としっかり連携を行い、地域の方が健康でいきいきと暮らすことができ、質の高い医療が受けられるよう努めて参ります。



●新入職医師からのご挨拶

講演会と懇親会の2部構成で行い、講演会では次の内容をお届けしました。



①「消化器外科のホットトピックス」

第一東和会病院 副院長
消化器外科・救急部長 田畑 智丈

第一東和会病院は、「急性腹症ホットライン」の普及を行い、地域全体で支え合う医療体制の強化に努めていること、迅速な緊急対応と質の高い手術で地域医療を支えていること、また、がん診療拠点病院として診療体制を強化し、他にはない新しい医療サービス（地域の先生方のよりどころとなる褥瘡治療、末梢血管確保が困難な患者さまへの簡便なブラッドアクセス法、便失禁患者さまへの新しい治療）の提供にも取り組んでいることをお届けしました。

②「乳がん、早期治療介入に向けて」

第一東和会病院
乳腺外科部長 野村 寛徳

乳がんは高齢者で罹患率が高くなるにもかかわらず、検診受診率は40、50代をピークに低くなっています。5大がんの中で最も発見率が高いがんであり、高齢者の受診率向上を図る必要があります。また、治癒が難しい場合でも、適切な治療によりQOLの維持、向上が可能であることをご紹介しました。

③「女性のQOL向上を目指して

～骨盤底疾患の最新治療法～

第一東和会病院
女性泌尿器科・ウロギネコロジーセンター 鍛田 知子

女性泌尿器科では、豊富な手術実績をもとに、術式に当てはめない一人ひとりの患者さまにあわせた治療を行っていること、便失禁、過活動膀胱に対してSNM（仙骨神経刺激療法）という新しい治療を行っていること、尿失禁や頻尿などのGSM（閉経後泌尿生殖器症候群）に対してインティマレーザーによる新しい治療を行っていることをお届けしました。



●副院長 消化器外科・救急部長 田畑 智丈



●乳腺外科部長 野村 寛徳



●女性泌尿器科 鍛田 知子



●地域の先生方と当院医師が交流を深め、盛況のうちに懇親会を終えました。

今後も、東和会をよろしくお願い申し上げます。

第一東和会病院
医師からご挨拶

血液内科 就任のご挨拶

第一東和会病院 血液内科

疋田 涼介 (ひきだりょうすけ)
Ryosuke Hikida



血液内科医として 勤務いたします

本年4月より第一東和会病院に血液内科医として勤務しております、疋田と申します。2018年卒で、卒後は京都市立病院や大津赤十字病院で血液内科医として勤務しておりました。

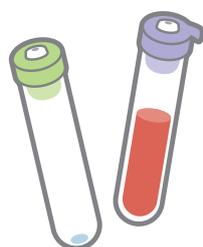
2023年に第一子を授かったことをきっかけに、住居や働き方を見直すこととなり、当院での勤務を希望いたしました。



造血器疾患は希少なものが多く 特殊な治療を要する疾患

内科の中でも、「血液内科」は馴染みのない先生も多い領域かと思えます。実際、血液専門医は他の専門医と比べて人数が少なく、血液内科を専門科として擁する病院は多くありません。

悪性リンパ腫など、近年症例数が増している疾患もありますが、造血器悪性腫瘍をはじめとした造血器疾患は希少です。また特殊な治療を要する場合が多いので、専門的なスタッフや設備が必要となり、診療可能な施設が増えづらいという側面があります。



当院も血液内科常勤医は私のみで、設備にも制限があるため診療可能な疾患には限りがあります。

現在、診療が可能なのは、悪性リンパ腫、一部の骨髄異形成症候群、骨髄増殖性疾患、免疫性疾患などです。

残念ながら、急性白血病や一部の悪性リンパ腫、一部の(特に若年の)骨髄異形成症候群、再生不良性貧血等は、診療に特殊な設備や人員が必要となるため、積極的な治療が必要な方は受け入れが困難です。

また、多発性骨髄腫についても、現在一部の薬剤に使用制限があり、治療ができない状況です。しかし、今年度中を目標に環境を整えて診療を開始したいと考えています。その他の希少疾患については症例ごとに診療の可否を検討いたします。

地域の医療機関の先生方へ

当院で勤務を開始して約3ヶ月が経過し、これまでに悪性リンパ腫や自己免疫性溶血性貧血を数例受け持ち、そのうち一例は化学療法を開始しました。滑り出しとしては手応えを感じています。

上述のような診療は積極的に行いたいと考えておりますので、血球減少・増多、リンパ節腫大、凝固機能異常などをもつ患者さまがいらっしゃれば、お気軽にご相談いただきたく存じます。

また、当院で加療した患者さまの診療を連携医療機関の先生方に依頼することもあるかと存じます。

その際は温かくご対応いただければ幸いです。



第一東和会病院
医師からご挨拶

健診センター 就任のご挨拶

第一東和会病院 健診センター

森定 一稔 (もりさだ かずとし)
Kazutoshi Morisada



はじめまして 健診センターの森定です

今年の4月より第一東和会病院健診センターに勤務しております森定です。3月までは高槻市保健所長として、感染症対策や健康づくり施策などの公衆衛生業務に従事して参りました。

在任中は、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、地域の先生方には多大なるご支援とご協力を賜りましたこと、改めて心より厚く御礼申し上げます。皆さまの理解とご協力のおかげで、新型コロナウイルス感染症の被害が大きかった大阪府の市町村の中で、高槻市は人口あたりの患者発生数が最も少ない自治体でした。



高槻市の健康づくり施策を推進

さて、私はもともと予防医学に強い関心を抱いておりましたため、高槻市に在職中は感染症対策のほか、健康寿命延伸を目標に健康づくり施策にも尽力いたしました。

がん検診の無料化、胃がん検診における胃カメラの早期導入、子宮頸がん検診における液状化検体への切替など、関係各位のご協力を得て、多岐にわたる施策を推進いたしました。

地域の先生方のご協力のおかげで、私が保健所長に就任した当時、保健所設置自治体の中で中位に位置していた高槻市のがん検診受診率は、現在では保健所設置自治体の中でもトップクラスとなっております。

地域の健康寿命延伸に 健診・検診を通じて貢献したい

第一東和会病院健診センターにおいては、各種健診・検診を通じて、より直接的に地域の健康寿命延伸に貢献して参りたいと考えております。

当センターでは高槻市民向けの特定健診や各種がん検診を実施しており、とくに高槻市国民健康保険加入者の方は、人間ドックを受診時に最大3万円の助成制度をご利用いただけます。



地域医療機関の先生方へ

第一東和会病院は地域医療支援病院であり、地域の先生方と相互に患者さまの紹介・逆紹介を行い、連携して地域医療を担っております。健診センターでもその考えは踏襲しておりますので、かかりつけ患者さまの健診・検診対応が難しい場合には、当センターをご利用いただければ幸いです。

今後とも、皆さまと連携しながら地域の健康寿命延伸のため尽力して参りますので、何卒よろしくご挨拶申し上げます。



News & Topics



市民公開講座「心臓を知る、心不全を知る、心不全と共に生きる」を実施



5月17日、第一東和会病院 循環器内科の蓬萊亮斗医師が、高槻市立生涯学習センター多目的ホールにて、心不全をテーマに講演を行いました。心不全は心機能の低下により、息切れや浮腫などを引き起こす疾患であり、高齢者を中心に増加傾向にあります。

講演では、心不全の定義や症状、原因、治療法に加え、疾患と向き合いながら生活する上でのポイントについて解説しました。

女性泌尿器科の周知を目的にした講座 「ウロギネコロジーって知っていますか？」を実施

5月22日、老人福祉センター春日すこやかテラスにて、女性泌尿器科の周知を目的とした市民講座を開催しました。第1部では、第一東和会病院 女性泌尿器科の柏原宏美医師が、頻尿や腹圧性尿失禁など女性に多くみられる排尿障害とフレイル（心身の虚弱）との関連、その予防法・治療法について、平易な言葉で解説しました。

第2部では、理学療法士の指導のもと、参加者が骨盤底筋体操を体験しました。



東和会グループ親睦会・新人歓迎会を開催

5月31日、グランヴィア京都にて2025年度親睦会・新人歓迎会を開催し、約900名の職員が参加しました。式典では新人職員の紹介に続き、永年勤続者の表彰、所属施設の紹介を兼ねた大抽選会を実施し、会場は大いに盛り上がりました。

職員間の親睦が深まり、終始和やかで笑顔に包まれた会となりました。



家庭の健康講演会「腹腔鏡手術があなたを“がん”から救う ～100歳まで元気で生きるために～」を開催

6月14日、大冠北第2コミュニティセンターにて、北大冠地区福祉委員会主催による「家庭の健康講演会」が開催されました。

当院の副院長であり、内視鏡外科センター長である佐藤功医師が、がんの早期発見・早期治療の重要性ならびに、進化を続ける腹腔鏡手術の特色について、平易かつ丁寧に解説いたしました。



五領小学校の児童が和朗園職員をインタビュー

6月23日、総合介護福祉施設・和朗園に高槻市立五領小学校3年生の児童5名と教員1名が訪問し、インタビューを行いました。職員に対し「どのような思いで働いているのか」「どのような業務を行っているのか」といった率直な質問が寄せられ、職員も自然と笑顔になりました。

「誰かのために働く喜び」「地域に貢献する誇り」といった思いを子どもたちに届けることができた、和やかで心温まる交流の時間となりました。



7月入職
医師のご紹介

第一東和会病院 呼吸器外科

佐藤 泰之 (さとう やすし)
Yasushi Sato



- 日本外科学会 外科専門医
- 日本消化器外科学会 認定医
- 身体障害者福祉法指定医（呼吸器）

ガイドラインに沿いながらも、患者さまやご家族の希望や背景を考慮し、それぞれの患者さまにとって、最適と思われる治療を行います。

社会医療法人東和会 市民公開講座のお知らせ



9月

ひざを守る ひざを支える 100歳超えても自分の足で
～痛みの原因と治療法～



講師は
第一東和会病院
整形外科部長
森内 宏充 医師

ひざの痛みのメカニズムと、
治療・予防の方法を学べます

日時 2025年9月27日(土) 10:00~11:30
場所 高槻市立生涯学習センター(2F 多目的ホール)
(高槻市桃園町2番1号)



10月

健やかな未来のために 誰もが関わる心不全について
～高血圧と心房細動の最新情報～



講師は
サンガピア館施設長
第二東和会病院
(循環器内科)
林 哲也 医師

心不全のリスクを減らすための
最新の情報がここに!

日時 2025年10月17日(金) 10:00~11:30
場所 茨木市文化・子育て複合施設 おにクル(1F きたしんホール)
(茨木市駅前3-9-45)



社会医療法人東和会 理念

私たちは「愛」と「和」の精神を大切にします。

そして患者さまの人権を尊重し、「地域のみなさまに信頼され、愛される病院」を目指します。

Towa kakehashi

発行 / 第一東和会病院 発行日 / 2025年7月30日

編集 / 第一東和会総務課広報企画係

今号掲載の職員の所属部署については取材時のものです。

■お問い合わせ 地域連携室

第一東和会病院 TEL: 072-671-1118 (直通)

第二東和会病院 TEL: 072-674-1008 (代表)

東和会いばらき病院 TEL: 072-623-0234 (代表)